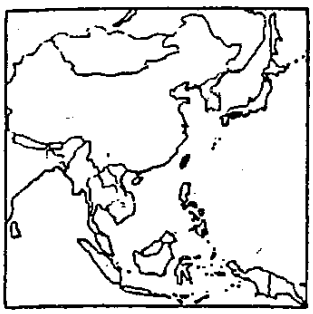
〈財団法人　アジア保健研修財団（ＡＨＩ）ニュース〈こども号〉第99号1991年10月１日発行〉

アジアの子ども



第16号　平和

〈台　湾〉

1991年10月１日発行
アジア保健研修所　（ＡＨＩ）

ぼく、おじいちゃんと話したい

（注）
これは民族衣装を着て
楽器を演奏しているところです。

おじいちゃん（65才）
トパス・タナピマ（ブヌン語）
田 中 武 夫（日本語）
田　文　統（北京語）

おとうさん（40才）
ラウン・タナピマ
田　良　典

おかあさん（35才）
ラゴイ・タケフナン
全　河　靚

おねえちゃん（12才）
アポス・タナピマ
田　秀　英

ぼく（10才）
コペル・タナピマ
田　恩　恵

霧のかすむ山々の連なる台湾中部の山地、その中にブヌン族の人が千人ほどの住む人和村があります。山の斜面にはお茶の畑がありバナナがあちこちに生えています。村の中をバイクや自動車が走っています。家の中にはテレビ・冷蔵庫などの電化製品があり、プロパンガスが使われています。

ブヌンの人々は、昔は山仕事、猟をして暮らしをたてていました。山仕事をしながら、一人が澄んだ高い裏声で合図をすると、向こうの山で仕事をしている人から同じような声で合図が返ってきます。その声が山々にこだまして、それはすばらしいハーモニーとなります。今もなおその美しいハーモニーを人々は歌い続けています。

ぼくの名前は、ふたつある。コペル・タナピマと田恩恵。（注1）ブヌン語と北京語だよ。ぼくのおじいちゃんは三つもあるんだよ。トパス・タナピマ、田中武夫、田文統だ。これはブヌン語と日本語と北京語なんだ。ぼくはふつうはほとんど北京語をしゃべっているんだ。でも、おじいちゃんは、あまりうまくないんだ。どうしてかって？

ぼくもとても不思議だったんだ。

その理由をお父さんが話してくれた。

「ブヌンの人々は、大昔からブヌン語を話して暮らしていたんだよ。

今からおよそ一〇〇年ほど前、日本の植民地になったんだ。その頃、いっぱい日本の兵隊もいたし、学校の先生も日本の人だった。学校でも家でも『日本語』を使わなければならなかったんだよ。だから、おじいちゃんは日本語がぺらぺらだし、日本語の名前もあるんだ。戦争が終わって、次に中国本土の人がやってきて、今度は『北京語』を使うように、と言われたんだ。おじいちゃんは、だから北京語が苦手なんだよ。」

ぼくは今、学校では北京語で勉強しているんだ。ブヌン語はカタコトしかわからないから、おじいちゃんとは話があまり通じないんだ。

ある日、ぼくの村に外国からお客さんがやってきた。おじいちゃんはニコニコしながら、とてもなつかしそうに話していた。それは、ぼくもどこかで聞いたような言葉だった。

『日本語』だった。

その日の夜、歓迎会が開かれた。

村のお母さんたちがいっぱいごちそうを作って、(注2)教会に持ってきた。ブヌンの歌を唄ったり踊ったり、いろいろな話をしてみんなで楽しんだ。

そして、村の人たちが歌うブヌンの歌が教会堂にひびきわたる。

ハイヤ〜〜〜〜〜ホ〜〜〜〜

ハイヤ〜〜〜〜〜ハイ〜〜〜

その時、ぼくは、

「ブヌン語の歌っていいな〜」と思った。

ブヌン語で歌い、日本語で話をしているおじいちゃんの姿を見ていたら、なんだかさびしくなった。

そして、ぼくは……

おじいちゃんのところにかけていって、しがみついた。

「ぼく、おじいちゃんと、もっと、もっと話ししたいよ。」

(注)ブヌン語―少数先住民族の言語のひとつ。民族間の共通語はなく、また、文字がなかったので、日本語教育により日本語が共通語として普及した。

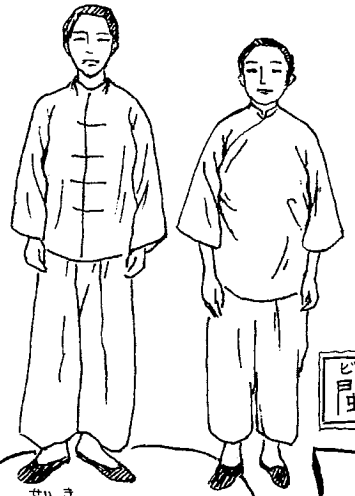
(注2)教会―戦後、少数先住民族の間でキリスト教が広まった。

＊この物語はAHIの台湾ツアーの参加者の話をもとに、〈編集委員会〉でまとめました。

台湾には、たくさんの“ことば”があるよ

…… いろいろな時代に
いろいろなところから
いろいろな人々が
やって来ました……

中国大陸



17世紀はじめごろ中国南部から移住した人々を本省人と呼ぶ

閩南語・客家語

1949年、中華民国の国民党政府(蒋介石)が台湾にうつったとき大陸から移住した人々を外省人と呼ぶ

北京語

馬祖島

金門島

1895年から1945年まで日本の植民地政策を受け、教育はすべて「日本語」でおこなわれた。
今でも世代によっては使われている。
台湾以外の、フィリピン、ミャンマー、インドネシアなどでもかたことの日本語が聞かれます。

日本語

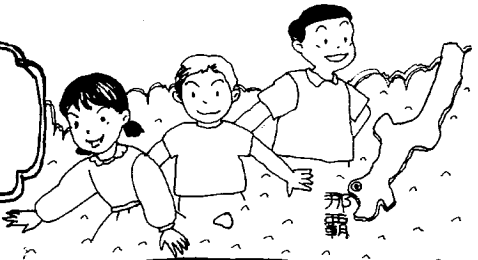
与那国島　西表島　石垣島

昔、南の島々からやってきた。

サイシャット族・ツオウ族
ブヌン族・ルカイ族
プユマ族・パイワン族
アミ族・タイヤル族
ヤミ族・
高山族(山地人)
と呼ばれています

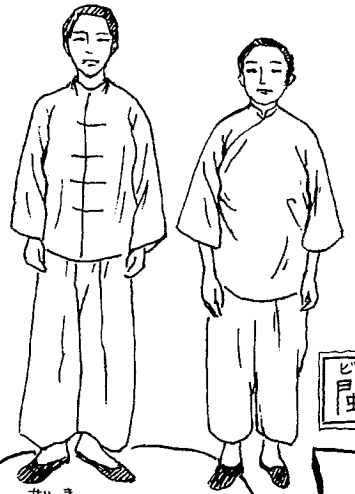
先住民族の言語

台湾には、たくさんの“ことば”があるよ



……いろいろな時代に
いろいろなところから
いろいろな人々が
やって来ました……

中国大陸



17世紀はじめごろ中国南部から移住した人々を本省人と呼ぶ

閩南語・客家語

馬祖島

金門島

1949年、中華民国の国民党政府(蒋介石)が台湾にうつったとき大陸から移住した人々を外省人と呼ぶ

北京語

台湾

台北

高雄

日本語

1895年から1945年まで日本の植民地政策を受け、教育はすべて「日本語」でおこなわれた。
今でも世代によっては使われている。
台湾以外の、フィリピン、ミャンマー、インドネシアなどでもかたことの日本語が聞かれます。

与那国島　西表島　石垣島

昔、南の島々からやってきた。
サイシャット族・ツオウ族
ブヌン族・ルカイ族
プユマ族・パイワン族
アミ族・タイヤル族
ヤミ族・
高山族(山地人)
と呼ばれています

先住民族の言語

台湾

歴史

およそ5、6千年前から中国大陸や東南アジアの島々から人々が次々に移住してきて、狩猟、漁業、焼畑農業をして生活していたと思われる。

17世紀に入り、オランダとスペインが中国、日本との貿易の拠点として港を開いた。17世紀後半、中国に明朝復興をはかり、鄭成功がオランダ人を駆逐し、台湾を根拠地とした。これを機に中国大陸との関係が深まった。やがて鄭一族をくだした清朝（中国）により、台湾は直轄地とされ、福建省、広東省から多くの人々が移住するようになった。

日清戦争後の1895年、日本の植民地となった。日本は台湾を工業製品の市場、軍事拠点とし、そのために日本語による教育を行い、交通網を整備した。人々は第二次世界大戦を日本軍として戦った。

1945年日本敗戦により中華民国にかえされた。1949年、中国大陸の実権を中国共産党が握ると、それに反対する蒋介石の率いる政府が台湾に移った。このため200万人にのぼる人々が中国大陸から移り住み、大陸の中華人民共和国と互いの正統性を争ってきた。1971年、中華民国にかわって、中華人民共和国が国連での議席を獲得したが、しかし台湾を独立した国とみる人々もある。また経済面では、急速に工業化が進み、高度成長を続けている。

この号では今日でも多くの人たちが、用いている、「台湾」という表現をそのまま用いました。

	台　湾	日　本
人　口	約2千80万人	約1億2千万人
面　積	約3万6千km²	約37万km²
人口密度	約578人/km²	約324人/km²
首　都	（主要都市）台　北	東　京
言　語	北京語　客家語 閩南語　広東語 先住民族の言語他	日本語 アイヌ語他
宗　教	仏教、儒教、道教 キリスト教　他	主に仏教
民　族	漢　族 先住民族他	日本人 アイヌ人他
平均寿命	73才	78才（1992年）
識字率	90％	99.9％
義務教育	9　年	9　年
主な産業	工　業	工　業

（最新世界各国要覧４訂版中華民国投資案内台湾［岩波新書］他参照）

季節の祝いごと

―日本と似た行事がこんなにあります―

台湾で広く行なわれている行事は、中国大陸から移り住んだ人々によって伝えられました。日本にも中国との交流の中でさまざまなものが伝えられました。そして、今わたしたちの生活の中にその影響が見られます。

漢字

漢字は、三千年以上前から中国で使われている文字です。同じ漢字でもそれぞれ地方で読み方が違っています。漢字のうえのカタカナが北京語の読み方です。

日本語とはずいぶん違っていますね。

暦

月の満ち欠けをもとにして作られた暦を旧暦（太陰暦）といいます。日本でも明治時代の初めまで使われていました。今は太陽の運行をもとにした太陽暦が用いられています。旧暦1月1日は2月の初めの頃です。

中元節

（旧暦7月15日）

先祖を祀る廟においまいりをしてご馳走をふるまい、先祖や無縁仏の供養をします。燈籠流しもします。

中秋節

（旧暦8月15日）

月の神様の誕生日のお祭りです。満月を楽しみ、月餅を食べます。

冬至

（昼のいちばん短い日）

祖先に団子を供え、団子汁を食べます。

端午節

（旧暦5月5日）

健康と平安を願ってしょうぶの葉やよもぎを魔よけに門口に飾ります。色どりの美しい香りのする小さな袋（香包）を子供達がもちます。ちまきを食べます。このちまきは豚肉、しいたけ干し海老などが入っています。

大根餅

春節

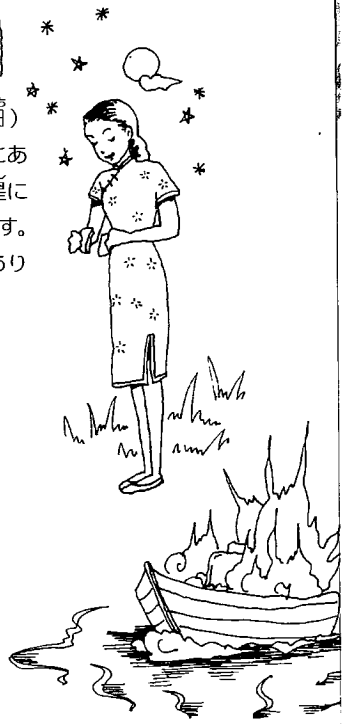
（旧暦1月1日）

大晦日から家中そろって新しい年を迎えます。子供達は赤い袋に入ったお年玉がとても楽しみです。

七夕

（旧暦7月7日）

空の天の川にある織女星、彦星にお願い事をします。でも笹飾りはありません。



元宵節

（旧暦1月15日）

幸福を願って、ちょうちんを持った子供達が町にくりだします。イルミネーションで飾った車や山車が町を練り歩きます。

東北地方のねぶた祭りに似ていますね。

季節の祝いごと

―日本と似た行事がこんなにあります―

台湾で広く行なわれている行事は、中国大陸から移り住んだ人々によって伝えられました。日本にも中国との交流の中でさまざまなものが伝えられました。そして、今わたしたちの生活の中にその影響が見られます。

漢字

漢字は、三千年以上前から中国で使われている文字です。同じ漢字でもそれぞれ地方で読み方が違っています。漢字のうえのカタカナが北京語の読み方です。

日本語とはずいぶん違っていますね。

暦

月の満ち欠けをもとにして作られた暦を旧暦（太陰暦）といいます。日本でも明治時代の初めまで使われていました。今は太陽の運行をもとにした太陽暦が用いられています。旧暦1月1日は2月の初めの頃です。

中元節

（旧暦7月15日）

先祖を祀る廟においまいりをしてご馳走をふるまい、先祖や無縁仏の供養をします。燈籠流しもします。

中秋節

（旧暦8月15日）

月の神様の誕生日のお祭りです。満月を楽しみ、月餅を食べます。

冬至

（昼のいちばん短い日）

祖先に団子を供え、団子汁を食べます。

端午節

（旧暦5月5日）

健康と平安を願ってしょうぶの葉やよもぎを魔よけに門口に飾ります。色どりの美しい香りのする小さな袋（香包）を子供達がもちます。ちまきを食べます。このちまきは豚肉、しいたけ干し海老などが入っています。

大根餅

春節

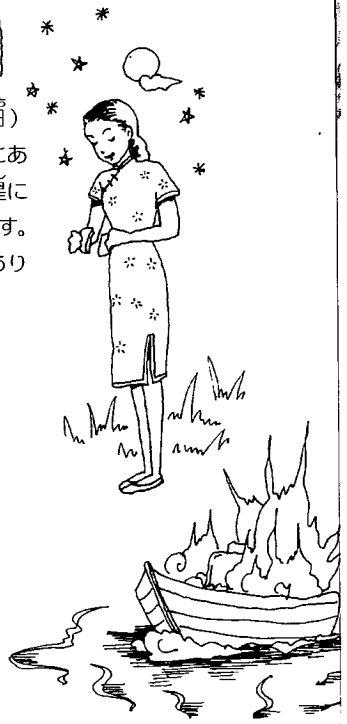
（旧暦1月1日）

大晦日から家中そろって新しい年を迎えます。子供達は赤い袋に入ったお年玉がとても楽しみです。

七夕

（旧暦7月7日）

空の天の川にある織女星、彦星にお願い事をします。でも笹飾りはありません。



元宵節

（旧暦1月15日）

幸福を願って、ちょうちんを持った子供達が町にくりだします。イルミネーションで飾った車や山車が町を練り歩きます。

東北地方のねぶた祭りに似ていますね。

こどものひろば

★こどもごうクイズ

（小・中学生のみなさん、AHIへ答えを送ってね）

1　台湾の大きな都市は？

2　台湾の少数民族の一つで、台湾中部の山地に住み、美しい歌声で有名な民族の名は？

3　台湾で話されているたくさんの言葉の中から三つ選んで下さい。

4　日本とよく似た台湾の年中行事を一つ書いて下さい。

「こども号」（ベトナム編）のクイズに答えてくれてありがとう。

［正解者］

小田切美緒　櫻井錬太郎　木暮　徳子
穂坂　翔　穂坂　駿　菊地　拓也
鈴木亜矢子　木村　泰子　沼倉多実子
高田　明子　深江　藍子

［敬称略］

お父さん・お母さん・先生方へ

東南アジアを旅するとき、六十才台ぐらいの人たちの口から日本語が飛び出すのを聞いて、ハッとすることがしばしばあります。

戦争の歴史の中で、一つの民族が、他の民族を支配するとき、〝言葉〟が抑圧の手段となった悲しい結末です。

〝言葉〟は歴史であり、その民族固有の誇り高い文化であり、民族の象徴です。それを奪うことは、民族の存在そのものを否定することではないでしょうか。

台湾で、おじいさんが北京語で育てられている孫と話したいため、大変苦労して北京語を習っているという話を聞きました。

経済大国日本の物質的繁栄をみて、東南アジア諸国で日本語を学ぶ若者が増えてきているようです。自らの意志で「話せるようになりたい」のと、「話さざるを得なかった」老人の世代とでは大きな差があります。その痛みを知らない世代に変わりつつある現代、もう一度、歴史をひもとき、過去のおろかさをくり返すことないように生きていきたいと思います。

（こんどう）

AHI（アジア保健研修所）とは

アジアの貧しい村では、その日の生活にもこまり、飢えや病気で死んでいく子がいっぱいです。お医者さんもいませんし、くすり（私たちが用いているような）もありません。

こういう村では、保健婦さんのような人たちが、村に住んで、村の人たちの健康を守るためにいっしょうけんめい働いています。

AHIは、そういう村で働く人たちを日本や、アジアの地にまねいて、より良い働きが出来るように、勉強してもらうところです。

発行所　財団法人アジア保健研修財団〔AHI〕〒四七〇―〇一　愛知県日進町米野木字南山九八七―三〇　電話　〇五六一七(二)一九五〇　郵便振込　名古屋七―四九六八八　銀行振込　東海銀行平針支店(普)七五〇―七六四
編集発行人　中村道太郎　編集責任者　川原啓美　編集担当　近藤真由美　協力　初井敦子　中山博夫　伊藤一　中村恭子　木村一子　宇井志緒利　表紙絵　竹越正俊　イラスト　平瀬早苗　印南ゆう子